

弱きを助け強きをくじく

任侠に生きる女

「清水次郎長伝 お民の度胸」

浪曲師 玉川奈々福

曲師 沢村美舟



女の情念

浪曲 VS 浄瑠璃

2022
2/6
(日)

15:30～17:00

前売券 2,000円 (当日券は500円増し)
限定 100席

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

徳島市川内町宮島本浦184 Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683
主催 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

焦がれ焦がれたその人を

一途に想う女「生写朝顔日記」



太夫 竹本友和嘉
三味線 鶴澤友勇



「語り芸」の魅力に迫る！



玉川奈々福 たまがわななふく 浪曲師

神奈川県横浜市出身。1994年10月、日本浪曲協会主宰三味線教室に参加。1995年7月、二代目玉川福太郎に入門。三味線の修行をしていたが、師の勧めにより、2001年より浪曲師としても活動。2004年「玉川福太郎の徹底天保水滸伝」全5回、2005年「玉川福太郎の浪曲英雄列伝」全5回をプロデュースする他、自作の新作浪曲や、長編浪曲も手掛け、他ジャンルの芸能・音楽との交流も多岐にわたって行う。平成30年度文化庁文化交流使として、イタリア・スロベニア・オーストリア・ハンガリー・ポーランド・キルギス・ウズベキスタンの七か国で公演を行う。その後、中国・韓国でも公演。第11回伊丹十三賞受賞。



沢村美舟 さむらみふね 曲師

1989年、千葉県生まれ。國學院大學文学研究科修了。2015年5月に日本浪曲協会主催の三味線教室に通い、その翌月に名曲師・沢村豊子に弟子入り。2016年4月、浅草の木馬亭にて初舞台。

琵琶法師の語る平家物語から浄瑠璃、説経節、祭文そして浪曲など、日本には「語りもの」と言われるジャンルの音楽が数多くあります。リズムやメロディよりも物語を語り、登場人物の心情や性根を表現することに重点を置く音楽です。江戸時代に生まれた義太夫節浄瑠璃と明治の初めにできた浪曲と、時代による違いや、時代が変わっても変わらないもの、二つの芸を知ること、目から鱗の語り芸の世界がもっと身近になるといいたいと思います。



竹本友和嘉 たけもとともわか 太夫

豊澤町子に師事し、昭和51年初舞台。平成8年鶴澤友路師匠（人間国宝）に入門し、平成9年竹本友和嘉を名乗る。東京国立劇場の「阿波の芸能」人形浄瑠璃公演をはじめ、国立演芸場での女流義太夫演奏会に出演するほか、数多くの海外公演にも参加。また小中学校対象の「義太夫節のワークショップ」をはじめ、十郎兵衛屋敷での義太夫教室や阿波路会を開催している。平成14年に人形浄瑠璃因協会奨励賞、平成21年には人形浄瑠璃因協会女子部門奨励賞、平成29年にとくしま芸術文化奨励賞を受賞。重要無形文化財（総合認定）保持者。



鶴澤友勇 つるざわともゆう 三味線

昭和53年に鶴澤友路師（人間国宝）に入門し、昭和60年に淡路人形座に入座。同年、鶴澤友勇を名乗る。数多くの海外公演にも参加。また国立劇場、京都造形芸術大学「春秋座」、義太夫保存会が主催する女流義太夫演奏会などへの出演、阿波路会の開催、小中学校対象の「義太夫節三味線のワークショップ」や、南あわじ市立三原中学校郷土芸能部の太夫、三味線の指導など幅広く活躍している。平成12年には人形浄瑠璃因協会奨励賞、平成25年には第33回伝統文化ポーラ賞を受賞。重要無形文化財（総合認定）保持者。

プログラム

- トーク「浪曲と浄瑠璃」（玉川奈々福、沢村美舟、竹本友和嘉、鶴澤友勇）
- 義太夫節浄瑠璃「生写朝顔日記」（竹本友和嘉、鶴澤友勇）
- 浪曲を100倍楽しむ方法（玉川奈々福）
- 浪曲「清水次郎長伝 お民の度胸」（玉川奈々福、沢村美舟）

チケット販売・予約

販売所：徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

ご予約：前日までに電話またはファックス、メールにて、ご予約いただけます。

Tel.088-665-2202, Fax.088-665-3683, メール awajurobeyashiki@mf.pikara.ne.jp